

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発生した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発生しなかった事例

No	種別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	観察中か否 か (観察中○、 観察中じやな い×)	発熱 有無	観察中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠障害 等の既往	睡眠異常 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の既往 有無	異常な行動に 関する既往 有無	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたのかと答えているのか？)	継続投 与例
127	B07013247	10	年	男性	異常行動	2007/5/1 2007/5/2	2007/5/2 朝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/5/1 高熱疾患があるため入院にて本剤の投与を開始。 2007/5/2 朝、本剤2回目服用から15分後に突然興奮から走り出しトイレに駆け込み失禁した(この時点では解熱していた)。本剤の投与は中止。その後は正常となり退院。		
128	B07013255	10	年	男性	異常行動	2007/1/23 2007/1/23 2007/1/24 2007/1/24 2007/1/25 2007/1/25	2007/1/23 夕	○	-	-	-	Yes	発熱持続	-	No	No	No	No	2008/1/23 (午前)高熱のため受診。本剤、桂麻各半湯エキス錠他処方。インフルエンザ感染症時体温:39℃。インフルエンザA型治療のため本剤投与開始。(60mg×2/日 ~1/25)。(午後)再度受診し、午前の桂麻各半湯の服用をやめるよう指示し、ナウゼリン、黄連連中湯を処方。(夕刻)本剤服用。患者は一度睡眠に入るが、突然立ち上がり寒の中を飛び跳ねる。上を指差しながら外に逃げたがる。両親は不在であったが、祖父母が面倒を見ており、二人で外に出るのを止める。外に出ようとしながら意味のわからないことを口走り、大きな寒の中を飛び跳ねたり走り回ったりする。異常行動(非重篤)発現。しばらくこの症状は続いたが、落ち着きを取り戻し、再び睡眠。 2007/1/24 熱はあるものの、前日のような異常な様子は認められない。 2008/1/25 体温:38.7℃ 熱が下がると薬局に来られる。 2008/1/27 インフルエンザ軽快・回復。 2008 異常行動回復。	*	
129	B07013388	10	年	女性	異常行動	2007/3/8 2007/3/9 2007/3/10	2007/3/8 18:30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/8 (12:00) インフルエンザで来院。本剤を処方され、帰宅し服用。 (16:30) 突然階段下を駆け暴れて外に飛び出した。母親が押入れ、何事にもならなかった。異常行動は回復。	*	
130	B07021901	10	年	女性	異常行動 異常行動	2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26 2007/2/26	2007/02/25 9:00 18:00	×	Yes	-	-	-	発熱持続中	No	No	No	No	No	2007/02/24(18:00頃) 二段ベットの上的段に寝ていたら、急に起きてきてベランダに走ってきて、母に「りかちゃんがかげら落ちたんじやないか、どうなったのか」と聞いた(母はベランダで洗濯物を干していた)。「りかちゃんは大丈夫だから」と話して納得させたが、その時のことを本人が覚えていない。今までこのようなことはなかった。 2007/02/25(18:00頃) 夕食時、ベッドで使っていた本人に食事を通りかかったところ、起きていた母親のめがけに走り出し、何を言っても聞かずに走り出す(母は内容を覚えていないが、普通では言わない内容だったとのこと)。そのようなことはないと報告されたが、あとでそのようなことがあったことを説明したら本人は全く覚えていない。	※	
131	B07027208	10	年	男性	異常行動	2007/12/23 2007/12/23	2007/12/23 18:30	○	Yes	2時間45分	30分	Yes	発熱持続中	No	No	No	No	No	2007/12/23 (13:45)自宅にて処方薬(水薬、本剤、解熱剤)服用。その後就寝する。 2007/12/23 (16:30)急に起き上がり、二階寝室から一階玄関まで走り行き、外へ走り出て行く。その際に「こんな家には住めない」と大声で叫んだりした(大きな音が自分に向かってくるのが怖いと感じたこと)。 2007/12/23 (17:00)家族が「静し、その後就寝。 2007/12/23 (19:00)処方薬(本剤、その他)服用し、朝まで就寝。夜中に寝ぼけた状態があったが、朝には正常であった。 2007/12/24 本剤の服用は中止し、様子を見る。発熱もあるも、異常行動はなし。 2007/12/25 インフルエンザも回復。	No	
132	B05023595	11	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2008/1/23	2008/1/23 18:00	×	No服用後 発熱する	-	1時間	No	-	No	-	-	-	No	2008/01/22 (15:00)発熱。 2008/01/23 (18:00)インフルエンザA型と診断。ナウゼリン、カロナール、タミフル4g(分2)処方。(17:00)ナウゼリン、カロナール各1T内服。軽食摂取。(17:30)タミフル内服(60mg/日)。(18:00頃)幻覚症状及び異常行動出現。怖がって泣ける。「お母さん」と叫ぶ。「怖い、怖い」と泣く。(19:00頃)改善。(19:20)当院電話連絡あり。 2008/01/28 (10:00)来院。インフルエンザ治療。及び幻覚症状消失を確認。		
133	B05024102	11	年	男性	異常行動	2008/2/10	2008/2/11 0:40	-	Yes 覚醒はして いない。誰 か状態。	-	1.5時間	-	発熱持続	No	Yes	No	No	No	2008/2/10 A医院にてインフルエンザA型と診断。高熱にて目が少うつろう感に伴う全身倦怠感の強い、タミフル2カプセルを処方(2回/日)。(夕方)タミフル75mg内服。 2008/2/11 (0:40)異常行動発現。同地2Fのおどり場より墜落。(1:30)当院救急搬送。脳挫傷、頭蓋骨骨折、両大腿骨骨折。 2008/2/15 (13:30)大腿骨骨折手術目的にて〇病院へ転院。転院時には異常行動回復。 不明 両大腿骨骨折に対して、転院後手術実施。 2008/9/31 退院。両大腿骨骨折は軽快。外来にてフォロー中。 睡眠から覚醒していたわけではなく、目は覚めていたが、せん妄状態とも考えられる。	幼少時に軽 度の夢遊病 あり	
134	B08024935	11	年	男性	異常行動	2007/2/18	2007/2/20 8:30	○	Yes	10hr	5分	Yes	-	No	Yes	No	No	Yes	2007/2/19 朝、妹がインフルエンザと診断されていたので、母親が同じインフルエンザだろうと思い妹に処方されたタミフル72mg×1/日を飲ませた。(21:00)夜、突然40℃台の発熱が起こった。 2007/2/20 (8:30)服用後約10時間経過した時、就寝中突然起き上がり徘徊をはじめた。其のわからない事を言ひ足りたので、母親が制止しようとしたが、おどろきやせん妄を呼び起す人がかりでおいえ込んだ。(8:35)正気を取り戻した。(10:00)当院救急。インフルエンザA型と診断。インフルエンザA型治療のため、本剤12mg×1/日の投与開始。 2007/2/21 インフルエンザの軽快・回復	睡眠時異常 症等	
135	B08025180	11	年	男性	①異常行動 ②幻覚	2007/2/18 2007/2/19	2007/2/19 ①午後 ②午後	①○ ②-	①Yes ②-	-	①10分 ②-	Yes	-	Yes	No	No	-	No	①ヤクザみたいな人が入ってきたと本人が訴えた。 ②トイレの意より飛び出し自宅のまわりを横断して走り、川の中まで入った。田んぼを徘徊、その後しばらく農圃に覆れていた。 ③逃げるという声が聞こえた、と本人が訴えた。		
136	B08026130	11	年	男性	①激話 ②異常行動	2007/02/10	2007/02/11 0:20	-	No	-	8時間	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	No	ウロウロ家の中を数回歩き回った。ウーと天井に向かって両手を突き上げ、手を振り回した。 その後ガラス戸を足で叩いて、ガラスを割ってしまった。左足を切って、外科で縫合した。		

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	結核中か否 か (状態中:○、 状態中じいなし:×)	薬理直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 前か発現 までの時間	回復までの 時間	一般して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒時 等の既往	経路異常 等の既往	先に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の既往 有無	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の 具体的な詳細 (併:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見たかという点に留意する)	継続投 与例
137	B08020540	11	年	男性	異常行動	2007/2/5 18:00 2007/2/6 8:00 2007/2/6 18:00	2007/2/7 2:00	○	No	5	4時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	2007/2/05 インフルエンザ自覚と診断。(18:00)タミフル75mg×1回/日投与開始。 2007/2/6 (8:00)タミフル75mg服用。(19:00)タミフル75mg服用3回目(夕食後)。(21:00)入眠。 2007/2/7 (2:00)異常行動発現。うわさを言って起き上がり、トイレに行った後、「フツッ」言いながらベランダや玄関の敷居のドアを開け、外へ出ようとした。母親が必死に止めるが力づくで何度も同様の行動を繰り返したが、母親がその度全力で止めた。(4:00)症状がこの頃まで続いたが、その後入眠。(8:00)起床。熱が下がりましたが何もなかったように回復。目がさめたが、異常行動については全く覚えていなかった。異常行動回復。 2007/2/10 インフルエンザ:軽快	不明
138	B07000058	11	年	男性	異常行動	2007/2/21 2007/2/22 2007/2/22 2007/2/23 2007/2/23 2007/2/24	2007/2/24 18:00	×	No	-	30分	Yes	解熱過程	No	No	-	No	No	No	2007/2/21 市ラミン2mg×37日の投与開始(〜3/24)。(夕)インフルエンザ治療の為、タミフル75mg×1回/日の投与開始。 2007/2/22 タミフル増量。(75mg×2/日 ~2/23) 2007/2/23 夜就寝。 2007/2/24 (12:00)起床。タミフル75mg/日継続投与(起床がおそかったため朝の分)。(18:30)玄関から外に出ようとしているのに父が気付き、もう暗いので外出するのはやめなさいと言ったところ居間に戻った。特に異常さは感じなかったが、後から考えるとおかしな行動だった。(19:00)異常行動による転倒発現(非重篤)。居間で父とTVをみていたが、ふと立ち上がり2階に行った。すぐにドンドンと音がしたので見るとベランダの下の上の上において、ボールとしていた。家に戻るようになり、1階に入り、30分後にはもうボールと感ではなくなった。意識ははっきりして、どして落ちたのか聞いてもわからないと答えた。外傷はごく軽い打ちみのみなので特に手当てはしなかった。	無
139	B07000111	11	年	男性	異常行動	2005/2/17 2005/2/18 2007/2/21 2007/2/22 2007/2/22 2007/2/23 2007/2/23 2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26	2005/2/18 1:00	-	Yes おぼぼ	-	15分	Yes	解熱過程	Yes おつとときに 症状+	Yes 母の父、母	-	No	No	2005/2/17 (夕)インフルエンザ治療の為、タミフル投与開始(不明×1/日)。(夜)体温38.8℃ 2005/2/18 (5:00)体温38.8℃(午前)タミフル投与量不明(内服)、タミフル投与(不明×2/日→07/2/21) (15:00)異常行動発現。10分位。布団に座って「キャッシュが卒業して」と言いながら泣いている。(重篤度不明)就寝、異常行動(-)。 2005/2/19 インフルエンザの軽快。 2005/2/22 (朝)本剤投与(不明×1/日)。 2007/2/21 (朝)38℃の発熱。(夕)39℃。来院時37.4℃。B型インフルエンザと診断。本剤処方。(18:00)タミフル内服開始。(75mg×2/日 ~07/2/26) 2007/02/22 (1:00)急に起きてトイレにしばらくもついていた。父親が引きずり出した。その後階段を昇ったり降りたりを繰り返す。しばらくして親が布団に寝かされた。布団で起き上がり、おかしなことを言う(他人と話している)。5分位続いた。母親に「第一子は男の子なの。お母さんはマリーアントワネット」等と言う。少し精神状態だが、いつもよりひどくなっていて、この時発熱が37.0℃台だったことを指摘している。夕方より(夜診時から)熱はなかったとのこと。異常行動発現。インフルエンザの軽快。 2007/2/23 翌日、めざめてからは症状(-)。異常行動回復。 2007/2/25 本剤の服用終了。	*	
140	B07000121	11	年	女性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	2007/2/27 23:00	-	-	1.5	1時間	Yes	発熱持続	No	Yes (軽いもの)	No	No	No	No	2008/2/27 早朝、39℃の発熱、鼻汁、咽頭痛、頭痛を認め、午前中来院。インフルエンザと診断。本剤処方2分。ボラミン(2mg)3錠、ムコダイン(250)3錠、アストマリ3錠、カロナール(200)1錠を処方。(13:00)38.7℃あり。上記薬剤を服用。(21:00)上記薬剤を服用。(21:30)就寝。(23:00頃)隣にいた家族の知らないうちに、2階より寝巻を裸足のまま家を出て、近くの家で保護されていた。その後連れ返して、すぐ帰宅。翌日まで就寝。落ちたのか飛び下りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのことであった。何時かは不明であるが、その前の検温では38.7℃であった。 2008/2/28 朝、38.8℃あり。来院。来院時は元気もあり、意識も清明で特に異常所見は認めなかった。咽頭培養にて、A溶連菌(AH3)を分離している。 2008/3/1 (9:00)38.9℃ (17:00)38.8℃ 2008/3/7 インフルエンザ回復	無
141	B07000131	11	年	女性	①薬性 ②異常行動	①2007/3/4 ②2007/3/5	2007/3/5 18:00	×	No	-	3日間	No	解熱過程	Yes	No	No	-	No	No	2007/3/1 かぜ症状あり、日中近医受診。クラリス、アスピリン、ブルスマリン、ホルルゲルDS、乳糖カルシウム、ラクビーを処方された。(夜)頭痛あり。 2007/3/2 (朝)38.1℃。(日中)38℃台となるも、また発熱。 2007/3/3 (9:00)自院救急受診。咽頭発赤あり。インフルエンザ迅速でB陽性。本剤、ムコダイン、メジコン軟、カロナール処方。タミフル(32.5mg×2/日)内服(〜3/5)。 2007/3/4 解熱傾向あり。興奮状態で家人が常にみている。異常興奮(非重篤)発現(発現時間不明)。インフルエンザ軽快。 2007/3/5 (15:00~16:00)寝床。(19:00頃)自宅リビングのソファの背もたれに乗って、更に立ち上がりそこから床に転落したが、顔を打撲したため口腔内を切って出血。近医受診。処置をもらった。その帰宅途中、ガードレールを乗り越えて走って来る車に飛び込もうとしたため、祖母がガードレール越しに捕まえた。本人が制止を繰り返すものの、力が強かったために祖母は転倒し、顔面に転倒傷を負った。異常行動発現。(23:00)就寝。 2007/3/6 異常興奮回復。 2007/3/7 異常行動回復。(3日間で回復) 2007/3/27 以上の経緯を聞いた。受傷直後は家人も疲れており、自宅安静にしていた。	薬性

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	個別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	試験中か否 か (試験中：○、 試験中じゃない：×)	発熱直 後に発現 した	試験中の場 合、就寝時 間から発現 までの時間	回復までの 時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠異常症 等の既往	睡眠異常症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用 歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (別：幻覚については具体的に何が見たか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと答えているのか？)	継続投 与例		
142	B07000183	11	年	男性	譫妄	2007/3/9 2007/3/10	11:00 20:00 6:00	2007/3/9	14:00	-	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	Yes	No	-	No	No	不明	2007/3/9 (11:00)本剤50mg×2回/日投与開始(3/11)、(14:00)本剤服用3時間 間で階段を駆け上がった。真っ黒な大きな物に追いかけられた。体を半分に切 られるような、痛い痛みと叫ぶ。本人はそれを見ている。せん妄発現。ふんど で押さえつけ、解熱剤(坐剤)を入れ、10分後に睡眠。その後そのような発作はない。 せん妄回復。(20:00)タミフル内服。 2007/3/10 (6:00)タミフル内服。 2007/03/11 インフルエンザ軽快・回復。	*
143	B07000260	11	年	女性	幻覚	2007/3/3	不明	2007/3/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明	不明 3年前から本剤を処方された場合に投与中に幻覚(重量度不明、過去に は、夜に一人で外をふらつ)がみられた。 2007 インフルエンザ発症 2007/3/3 他院にてタミフル投与開始(75mg×2回/日)。 2007/3/4 幻覚を見てドアにぶつかり頭に裂傷を負い当院形成外科を受診。 2007/3/10 回復。	*	
144	B07000274	11	年	男性	異常行動	2007/3/18 2007/3/18	①14:00 ②22:00	2007/3/18 2007/3/18	①14:50~ 15:00 ②23:00~ 23:05	-	Yes	-	5~10分	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	本人の話：家でマシオンから飛び降り、痛み無く、起き上がり歩こうとして、現 実に戻る。自分の足を掃除機本体に入れようとしたが自分の体を止められず、 その後記憶がなくなった。14:50にタミフル服用し、14:10~就寝。14:50覚醒し、 異常行動発現(10分間)、15:05~23:00再び就寝し、21:00に夕食をとる。 22:00タミフル50mgを服用し(2/3粒を、1/3粒を)、22:15~再び就寝したが、 23:00に目を覚まし異常行動を発現(5分間)、23:10再び就寝し、その後タミフル は服用なく異常行動もなし。	*
145	B07000318	11	年	男性	異常行動	2007/3/19	夕	2007/3/19	服用から1時 間後	-	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	No	No	-	-	No	無	2007/03/19(夕方)本剤52.5mg/回内服。(1時間後)突然睡眠から覚醒し、立ち上 がり「テスト」と書いて階段を登って、2階に上がろうとした。(外に出ようとした。 「早く早く」と本人はつぶやいていた。)制止して椅子を見ると、笑う動作(普段あ まり笑わない手や顔)と笑っていたのが不気味だったとの母親談。、突然当 座の体重が約5分程度減る。その後も家の中をふらふらとどこに向かうというわ けではなくして、服用は1回で中止し、再び入眠(翌朝まで寝かせた)。 2007/03/20異常行動回復。 本人に聞いたところ、昨日のことを覚えていなかった。	*
146	B07003581	11	年	男性	異常行動	2007/3/12	13:00	2007/3/12	14:00-15:00	○	No	1-2時間	1時間後	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	無	2007/03/12(13:00頃)インフルエンザに対して、本剤83.8mg/日内服。 その後寝かされたが、1~2時間してから起きてきて母親の知らない友達の家 に遊びに行くと言い出し、無理に外出しようとした。母親がおかしいと強い抑えて 寝かせつけた。その後はニコニコと笑っていて手足がピクピクと動いていた。し ばらくすと治まりその後服用は中止。以後、異常行動はみられていない。本人 も記憶にないとのこと。	*
147	B07003788	11	年	男性	①異常行動 ②幻覚	2007/7/24 2007/7/24 2007/7/25 2007/7/25 2007/7/26 2007/7/26	朝 夕 朝 夕 朝 夕	2005/2/25	午前中	-	No	-	10分	-	発熱持続	Yes	No	No	No	No	No	2007/02/24インフルエンザBと診断。本剤75mg×2回/日投与開始。 2007/02/25(午前)異常行動発現(非重篤)。2階で一人で臥床していた。その時 はまだ解熱してなかった。1階にいた母親が突然のもの音に気がついたら、約 1分ほど興奮が(つづき、脅えていた。その後、反応が正常になり、臥床した。 2007/02/26その後も臥床をつづけたが、異常はなかった。記憶なし。 後日、母親が尋ねると、玄關(本人からは見えない)の外に大勢の人がいて、が やがやとしてしゃべっていた。このため、とても怖かったのだと供述した(もちろん、そ のような事実はなかった)。現在、その記憶はあるものの、本人に異常はない。	*
148	B07011102	11	年	男性	異常行動	2008/1/18 2008/1/17	(夕) (朝)	2008/1/17	午前	×	No	-	-	-	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2008/1/18 39℃の熱が続いていた。キッドでは陰性。総合的にインフルエンザ と診断しタミフル処方。(夕)タミフル投与。 2007/1/17 (朝)タミフル投与。(午前)2階から1階へ突然走り出し、外へ飛び出 ようとしたところを母に止められた。その両頬は赤らんでいて、何も覚えていな い。精神神経系の副作用(異常行動)(非重篤)発現。	*
149	B07013215	11	年	女性	異常行動	2007/2/7 2007/2/8 2007/2/9 2007/2/9	夕 朝 夕 朝 夕	2007/2/7	23:00	○	-	1時間	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2007/2/7 (18:00)体温：37.8℃。(夕)インフルエンザB型治療のため、本剤72mg内 服。発症時に認められた自他覚所見：発熱37.8℃(07/2/7、18:00)、頭痛、咳、鼻 分泌(鼻水)、鼻づまり(しゃみ)、頭痛、倦怠感。(22:00)眠後。(23:00)せん妄 発現(非重篤)。2階にて就寝中、突然起き階段を「高い高い」と言いながら走っ ておとってきた。15分~20分振っていた。 2007/2/8 (夕)朝)せん妄軽快。(朝)本剤72mg内服。(夕)本剤72mg内服。 2007/2/9 (朝)本剤72mg内服。(夕)本剤72mg内服。	*
150	B07013227	11	年	男性	激越 浮動性めまい	2008/1/11 2008/1/11		2008/1/11	-	○	-	-	-	Yes	発熱持続	No	No	-	-	No	無	2008/1/11 インフルエンザA型に対して、本剤5mg×2回/日処方。1回目内服 後、すぐに嘔吐。母親の判断にて約8時間後に2回目内服。その後解熱、興奮、 ふらつき発現(非重篤)。突然起き出し外に飛び出したところを家人におさえられ る。家人より目撃がおかしかったとのこと。2-3分に本人が気付き状況確認す ると、とても悪い夢を見たとのことだった。 2008/1/12 興奮、ふらつき回復。(9:00)家人より電話あり。症状は落ち着いて おり、特にわかりないとのことであったため、本剤中止にて様子を見た。 2008/1/13 来院時特に変ったことなし。	*

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発生した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、 就寝中じゃない: ×)	意識度 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 前からの発現 までの時間	回復までの 時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記憶	継続投与症 率の既往	継続投与症 率の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行動」の副作用	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が起きたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見たように言っているのか?)	継続投 与例
151	B07013315	11	年	男性	異常行動	2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28	2007/2/24	×	-	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2007/2/24 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始(40mg×2/日)。発症時自他覚所見:発熱39.9℃(07/2/23)。咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、しゃみ)、消化器症状(嘔吐、下痢)、本剤服用後、1時間後位して急に走り出して外へ出て行った。母親が制止したが、警へ通報していた。異常行動(非重篤)発現。 不明 異常行動回復。 2007/2/28 インフルエンザ軽快。	*
152	B07013318	11	年	男性	異常行動	2007/3/18 2007/3/19	2007/3/19	○	-	-	0.5時間	Yes	解熱過程	No	-	-	No	No	無	2007/3/18 (夕)インフルエンザA型に対して、本剤07.5mg内服。発症時自他覚所見:発熱39.9℃(07/3/18 18:40)、倦怠感、頭痛症。 2007/3/19 (朝)本剤07.5mg内服。(13:30)異常行動発現(非重篤)。昼寝の最中突然起き上がり、玄関に向かって走り出した。意味不明な行動もみられた。母親が制止し、声をかけたところ、室に戻り部屋に居るが、行動、言動については記憶がない。(16:00)異常行動回復。 以後は症状みられず。 2007/3/22 インフルエンザ回復。	
153	B07013378	11	年	男性	異常行動	2007/3/12	2007/3/12	○	-	-	20分	No	発熱持続	-	No	No	No	No	無	2007/3/12 (15:00頃)インフルエンザB型治療のため、本剤7.5mg×1/日の投与開始。体温:38.5℃。(16:10頃)就寝。(17:00)一過性の怖れ(驚怖)、謙世(強いうつ?)、興奮状態発現(非重篤)。(17:30)就寝後、精神神経症状、けいれん等は無く、驚怖のため家の外へ飛出そうとする。その後、この世はいやだ、死にたいと繰り返す。約20分持続。(17:50)就寝。(20:30~20:35)再び就寝中に数分~5分、数分の恐怖の発現が在り。(22:30頃)就寝中に再び数分の興奮有り。数分~5分で改善。 2007/03/19 一過性の怖れ(驚怖)、謙世(強いうつ?)、興奮状態軽快。何事もなくめどめる。その後、特に異常なく元気だが、興奮中のことは憶えていない。インフルエンザの経過:回復	
154	B07013383	11	年	男性	異常行動	2007/3/20	2007/3/20	×	-	-	-	Yes	発熱持続	-	No	-	-	No	無	2007/3/20 (夕)受診後、夕方に帰ってすぐ本剤75mg内服。発症時自他覚所見:発熱39.4℃、頭痛、関節痛、倦怠感。(1時間後)異常行動発現(非重篤)。急に家を出た。玄関の扉を開き、帰って来て笑っていた。おそらくこの時、高熱と全身痛があったので、この行動は不可解である。 その後、異常行動は止み、薬を中止するよう指示して再発なし。	
155	B07013387	11	年	女性	異常行動	2007/3/2 2007/3/2 2007/3/3 2007/3/3	2007/3/3	×	-	-	-	-	-	No	-	-	-	-	無	2007/3/2 インフルエンザB型に対して、本剤75mg×2回/日投与開始。発症時自他覚所見:発熱39.1℃(07/03/02)。頭痛、咳、鼻症状(鼻水)。 2007/3/3 異常行動発現(非重篤)。2回ほど薬を飛び出そうとしたが、親が止めたため、大事には至らなかった。本剤投与中止。 2007/3/4 異常行動軽快。インフルエンザ回復。	
156	B07018037	11	年	男性	異常行動	2007/3/8	2007/03/08	○	Yes	-	30分	Yes	発熱持続中	No	No	No	No	No	No	2007/03/08 38.7℃ (12:00)タミフルカプセル服用。(13:10)突然飛び起き、目を見開いて走り出す。(13:40)上記の症状はおさまる。異常行動は発現していない。	
157	B07018716	11	年	男性	異常行動	2007/11/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/11/20 本剤服用後2時間ほどで奇声を発し、3階から飛び降りようとしたとのこと。家族が出陣を要請し、入院経済観察することとなった。 2007/11/21 異常行動は回復。	
158	B02-12377	12	年	男性	①幻視 ②低体温	2003/1/3	-	×	No	-	15分	Yes	解熱過程	No	No	No	-	No	無	①(家族からの情報)本剤服用後、幻視、低体温、暴れた為、両親が押さえた。再度腫脹したところ、再度幻視出現し、低体温、暴れるなどの症状が出現し、再び両親に押さえられて治まった。 ②未記載	*
159	B03011945	12	年	男性	異常行動	2004/2/4 2004/2/6	2004/2/5	○	Yes	8.5	数十分~1時間	Yes	持続中、解熱過程	-	-	-	-	-	無	2004/2/4 発熱あり(38~39℃)。(16:00すぎ)学校早退。近医受診。インフルエンザ迅速検査陰性だがインフルエンザが疑われたため、タミフル、ヘブリン顆粒処方(1回75mg内服)する。(19:00頃)その後すぐ就寝。 2004/2/5 (3:00)39℃。突然、母の体の上に乗り「宇宙が～」意味不明のことを言う。異常行動(軽微)発現。その後、尿失禁、シャワーをまひると元にもどる。朝、本剤75mg内服する。午後より解熱。この間、寝たり起きたりの生活。(17:00)急に「うちはこうする」と言ったり、「(母の実家へ)行くといい、玄関とは全く違う方向へ歩いて行こうとする。家人の呼びかけに対し、元にもどる。(18:00)当院初診される。当院初診時は意識清明であり、特に変わった様子なし。当院来院以降は発熱認めず。急のため入院し、内服薬すべて中止して様子みた。入院後、解熱、意味不明言動等、全くなり。ふつうにすごす。入院中の頭部CT、脳波も正常。 2004/2/6 異常言動回復。 2004/2/9 退院される。	*
160	B04009035	12	年	男性	異常行動	2002/2/25~ 3/2	2002/2/25	-	-	-	3時間	-	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2002/02/25 朝、KT:38~39℃認め、近医でインフルエンザB(+)判明し、タミフル(150mg/日)、メブクト、etc処方あった一自宅で内服した。(21:00頃)突然「羞しい」と訴えつつ異常(いつもとちがう)になり、自宅2階の窓から飛びおりた。(24:00頃)救急車で来院時、意識は清明であった。	*
161	B05023672	12	年	男性	異常行動	2006/1/18	2006/1/18	○	Yes	1	15分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	無	トイレへ行こうとする様子がおかしく、その後突然外出し団地4階より階段を降りて下にある自転車庫で走り出す。奇声を上げていた。異常行動発現。15分位後、帰ってきたが意識が1分ほどおぼろげで発熱もみはつきりせず、朝まで経過。その間の記憶が無い。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	追加番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	発熱 直後に発現 したか	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	意識喪失 等の既往	聴覚異常 等の家族歴	先に 対応 した	他剤による 「異常な行 動」の既往 の有無	異常な行動に 関する既往症	異常な行動の具体的な詳細 (例：発熱については具体的に何が発熱したか？本人が発熱を見たのか、 親が発熱を見たか？と答えているのか？)	継続投 与例	
162	B05023790	12	年	男性	①異常行動 ②意識障害状態 ③横着骨折 ④下肢骨折	2008/2/4	2008/2/4 15:30	-	-	-	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	無	2008/2/4 (12:00)A院にてインフルエンザA型と診断し、タミフル処方。帰宅後服薬(1回分のみ)、(16:00)自宅マンションの2階より転落、意識障害、異常行動発現。発見され、救急車にて病院へ搬送。右腕・右下肢骨折、腹部外傷にて手術。同時に小児科にて診察、入院。頭MRI所見なし。インフルエンザテスト(+) 4-5日 発熱、咳が続いた。また夜間うらむことがあった。 6日目 リハビリ開始。発熱は続いているが全体に回復傾向。経過観察にて症状消失。 2008/02/10 インフルエンザ軽快。 2008/02/18 意識障害、異常行動回復。		
163	B05024638	12	年	男性	異常行動	2008/2/1 2008/2/1 2/2~2/3	2008/2/1 22:30	○	Yes	0.5時間	-	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	2006/2/1 (12:00)38.5℃の発熱、咽頭痛あり来院。母親が同様の症状であるが、母の鼻汁よりインフルエンザAが証明されたため検査は実施せず。タミフル75mg 2cap/日×3日処方。(13:00)タミフル75mg内服。(22:00)タミフル75mg内服。その際、38.3℃の発熱あり。(22:30)内服30分後、就寝中より突然起きだし父親に抱きつかせたり、母親に意味不明な言葉を発する等の異常行動がみられた(恐怖感を感じる素行をしていたと母の弁)。24:00再び入眠した。異常行動は回復。(異常行動は約30分間持続) 2006/2/2 (朝)起床後は昏段と変わり、前日の記憶は無し。 2006/2/3 (8:00)38.4℃(21:00)38.4℃。本剤投与終了。	*	
164	B05025582	12	年	男性	異常行動	2008/2/26	2008/2/26 20:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2006/2/26 (朝、タミフルインフルエンザのため、タミフル(75mg)/回内服。(20:00)突然部屋の中をぐるぐるまわり始め、そのうちに2階の窓枠に足をかけ、飛び降りようとした。異常行動発現。父がすぐと押し、部屋の中に連れ込んで押えていたが、約40分間位父の腕の内側でわめいたり、暴れたりしていた。(21:00頃)そのうちに次第に落ち着いてきて寝た。異常行動軽快。熱は39℃以上あった。 2008/2/27 翌朝は解熱し昏段と変わりなく、念のため病院に再来した。本剤は2cap飲んだだけで中止した。外来受診時、意識ははっきりし特に異常はなかった。体温:38.7℃。 2008/2/28 (第3病日)体温:37.5℃(以後平熱)。 2008/3/01 インフルエンザ軽快・回復。体温:38.7℃。 2008/3/3 再び来院。母の話だと、本人も暴れたことは何となく覚えている様だとの由。1年くらい前にも発熱した時に、うなされたことがあったとの由。しかし今回のようにひどくはなかった。		
165	B08007798	12	年	男性	①死亡 ②横傷	2008/7/3	2008/7/3 17:50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明	(17:50頃)自宅のある高層住宅の駐車場で倒着に半ズボン姿で、踵足で倒れていた。心臓停止の状態を救急車に搬送。胸や脇など複数箇所骨折が見られた。 (来院時)心肺停止状態であり、1時間経生施行したが、全く反応なく死亡確認となる。軽傷によると思われる外傷があった。 (18:05)死亡確認。		
166	B06012472	12	年	女性	意識レベルの低下	2008/7/26	2008/7/26 10:00	○	No	30分	5分 1時間35分	No	発熱持続	Yes	-	-	-	No	不明	(7/26 10:00)うとうと、急に起きる。既に目がキラキラしており、一点を見つめるように、ぱっと目を見開いていた。のどが苦しくなり、窓の方へ駆け出し、キヤーキヤー叫んでいた。5分程でおさまったが、一応救急車で運ばれ点滴を打って対応。「苦しくて、息をしても空気が入ってこなくてこわかった」 入院。来院時、意識清明。受け答えもはっきりしていた。その時の様子も患者自身は覚えていないらしいが、ただ「宇宙に飛び出しそうになった」と語っている。 (7/27午前11:45)夜に目を覚まして怖いよ、手が上へ動く、怖いよ〜と叫ぶ。怖がって泣く。(午前2:00)カロナール内服。(午後3:00)まだ怖い、どこかに行きそうな感じがするとのこと。(午後3:20)落ち着く。	
167	B06024212	12	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/10	2007/2/10 20:00	×	No	-	1~2時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	無	2007/2/10 インフルエンザA型と診断。(僅)インフルエンザA型に対して、タミフル75mg内服。(20:00)意識障害発現(非重篤)。名前、自分の年が言えず、意識レベル3。入院し、点滴(STZ 500ml)にてfollow。 2007/2/11 (10:00)意識障害回復。意識清明。発熱(-)。 2007/2/12 (10:00)解熱。元気あり。退院。インフルエンザの軽快・軽快・回復 2007/2/14 (11:00)外来にて、かぜ症状のみ。神経学的に異常認めず。		
168	B06024534	12	年	男性	①異常行動 ②転倒	2007/2/22 2007/2/23	2007/2/23 18:00	-	-	-	3時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	2007/2/21 (夜)38.5℃の発熱。 2007/2/22 (午前)インフルエンザA型と診断。A院にてタミフルなど処方。(朝、夕)タミフル75mgずつ内服。(夜)~23日朝にかけて、突然様になり「お風呂」と書いて踊るなどの行動あり。 2007/2/23 (8:00)タミフル75mg内服。(16:00)母親が目を見た間に、2Fベランダから飛び降り、直後から走り回る。当院へ入院。発熱不明、記憶無。タミフルの副作用の可能性も考えられたが、急性脳症否定できず。スチロイドパルス療法施行。ICU入院。処置内容:利尿剤(利尿)がロール1日(〜2/25)。マンネンロール生20×250ml×3日。ミラプリが速5万単位×3日。ロゼリウム1g×2/日(〜2/26)。フコチン坐剤200mg/日。カロナール300mg/日翌朝当院へ連絡があった。 頭部MRI、CT、髄液検査、胸部・腹部・骨髄X線:異常なし前頭部3Hz wave with notchesが〜5秒程持続するのが顕著。 2007/2/24 処置内容:フェノバルール60mg×2/日(〜2/26)。その後も異常行動が認められたが徐々に消失。 2007/3/2 明らかな後遺症なく退院となる。インフルエンザ回復。	※	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○ 就寝中じゃない×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	発熱の経 緯	意識障害 等の既往	痙攣発作 等の既往	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の発作 履歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと答えているのか？)	継続投 与例	
169	B09024908	12	年	男性	異常行動	2007/2/7 12:30, 19:00	2007/2/8 2:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/7 インフルエンザ発症(発熱37.8°C(朝)、咳、倦怠感)、(12:30)インフル エンザに対し本剤1カプセル服用。(19:00)タミフル1カプセル、マブール、ムコアスト マリ服用。 2007/2/8 (2:00)異常行動発現。外に出て素足で50m程先の駐車場に向かって 走り出す。父親が家に入れたが、そのまま2階に走っていき、退いていと意を 開けて飛び降りていた。見に行くと、土の上に出ており、応答はつきりせず、戻 ほけたような様子だった。自家用車にて救急外来受診し、当院へ搬送依頼あり。 (3:30)当院救急外来到着。意識レベルJCS1-2、ICU入院。外傷は右腰骨骨 骨折のみで頭蓋内出血などなし。髄液検査：蛋白定量42mg/dL、糖定量 60mg/dL、単核球2/3mm ³ 、分葉核球0/3mm ³ 。(10:00)インフルエンザ発症の 可能性も考慮し、ステロイドパルス療法(ビル-パロール1000mg/日)開始(～ 2/10)、(20:30)強直。突然笑い出す。泣き出すなどの症状認められた。 2007/2/9 (8:30)意識レベルJCS0-1 2007/2/10 (9:30)意識清明と健忘。 2007/2/11 インフルエンザ軽快。アスピリン20mg×3回/日(～2/14)、ムコダ イン500mg×3回/日(～2/14)投与開始。 2007/2/16 退院。外来フォローとなる。 2007/2/8 異常行動回復。(15:26)服のけがため松葉杖。行動、運動面で特 に以前と変化なし。		
170	B00025101	12	年	男性	異常行動	2007/2/8 12:00頃	2007/2/8 14:11頃	×	No	-	-	-	-	-	-	-	-	No	無	①幻覚を見て、裸足で外に飛び出した。その後自宅に戻り、「頭がこわれそう」 落ち着きなくなり、家中のドアを開けた。自分で電話、最初は117番をかけたし まった。次に119番をかけたが警察から連絡がよくなり救急車で他院に搬送。点滴 により落ち着いて帰宅。 ②寝になる性えてしまう(目が覚めて眠れない等)就寝後1時間くらいで起き 出して、錯乱状態になる。		
171	B08025576	12	年	女性	異常行動	2007/3/4 3/5～3/6	2007/3/4 22:00	-	-	-	30分	Yes	発熱過程	Yes	No	No	No	No	無	2007/3/3 (17:00)38.5°C発熱あり。当院外来受診。翌日再診とした。カロナール 200 2T 1×服用。 2007/3/4 (11:30)再診。エスプラインRインフルエンザA&B-Nにてインフルエン ザと診断。本剤2cap 2×(3T)投与。(12:00)タミフル75mg服用。(22:00)突然泣き 始め、素足で土間の方へ飛び出し「目がとれた」と叫ぶ。異常行動発現。 約10分程で落ち着き、面蒼がおさえる。体温：37.5°C。 2007/3/5 (朝)本剤服用再開(～3/6)。その後異常な行動なし。 2007/3/6 (10:30)当科外来に報告。再診。明らかな異常なし。(11:00)異常行動 回復。	*	
172	B08026630	12	年	男性	①転倒 ②異常行動	2007/3/18 2007/3/19	2007/3/20 2007/3/20	○	Yes	1時間	1回目30分 2回目10分	-	発熱持続	No	Yes	-	No	No	無	急に起き上がり、前庭を歩き回った後、突然2階に上がった。母が追いかけて 抱きかかると一度は1階に連れ戻したが、その後、もう一度2階に上がって、ベラン ダへ出、飛び降りた。夜中に連れ戻したが、まだ興奮状態で暴れていた。飛 び降りたことは覚えていない。翌日21:40、寝ていたら、急に立ちあがり、「い かなあかん」とベットの隅から降り、どこかへ行こうとした。看護士と母親を押しさ え、医師到着時は本人落ち着いており、これからは覚えていないと言う。		
173	B07001302	12	年	女性	①痙攣 ②浮動性めまい ③異常行動	2007/2/23	2007/2/23 22:30	-	-	-	約10分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	-	2007/2/22 (夜)37°Cの発熱あり。 2007/2/23 (朝)38°C。(昼)39.7°Cの熱あり。解熱剤詳細不明で内服したが、解 熱せず当院受診。咳嗽あり。インフルエンザA型と診断。(19:00)タミフル投与 (75mg)。(20:00頃)眩暈。(22:30)寝ていて急に起きたが、焦点が合わずウロウロ していて気を失い2階の階段から転落。この時、全身痙攣、振動する上肢けい れん発作(非重篤)が認められた。痙攣が10分ほど持続。10分後に他院受診。 (23:00)30分後に意識回復し、頭部CTを行ったが、異常はみられず帰宅した。け いれん発作回復。ふらつき(非重篤)発現。ふらつき、震動がおかしくなる症状は 回復。 2007/2/24(朝)当院再受診し、本剤中止。発熱は続いていたが、意識は正常で あった。以後は受診なし。		
174	B07001381	12	年	女性	異常行動	2007/3/17	不明	2007/3/17	服用2回目	-	3分	-	-	-	-	-	-	-	不明	服用2回目で突然立ち上がり、廊下に飛び出す。わけのわからない事を叫び、 暴れる(約3分間)。家族が押さえてつけて静止した。	*	
175	B07001923	12	年	男性	意識異常状態	2008/2/2	16:30	2007/2/2	17:30	-	17時間	No	発熱持続	No	No	-	No	No	無	2月2日(17:30)両手を挙上し、訳のわからない事を言いながら、こたつの周囲を 10回ほど回った。その後、紙製のふたを覆り縛っていた。このため救急車で茶 院。怒りっぽく荒々しい言動であった。		
178	B07002864	12	年	男性	①うつ病 ②錯乱状態 ③強迫性障害	2007/2/20 2007/2/20	19:00	2007/2/20	19:00	○	Yes	1時間	Yes	発熱過程	No	No	No	No	No	無	2月20日(18:00)本剤内服後、1時間経る。(19:00)起きたときに錯乱状態になり、 母が押さえる。症状約30分続き回復。 2月21日(朝)37°C。起床後再び「手洗い」を始める。その後もずっと手を洗い 続け、1日に40回以上「手洗い」をするようになる。 2月24日1日に40回以上「手洗い」。回りのものに触れようとしない。 2月27日投与する学校でも「手洗い」が続く。 3月上旬シタクルクリニックにて洗浄強迫性障害と診断される。 3月13日ロープで首吊り自殺しようとする。その後も自殺願望強くなり、自宅でも が見守らなければならない状態となる。 4月16日(夜)突然顔面より上半分に筋肉の強直出現。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例
 ＊：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	観察中か否 か (観察中○、 観察中しやな い×)	発熱 直後 に発現	観察中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠異常症 等の既往	睡眠異常症 等の家族歴	光に対する 反応	薬剤による 「異常な行 動」の副作用	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと答えているのか？)	継続投 与例
177	B07011832	12	年	男性	異常行動	2007/3/5 2007/3/6 2007/3/6	2007/3/6 1:00~2:00	○	Yes	-	-	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	無	2007/3/4 (夜)発熱にて救急受診。インフルエンザ確定診断にて陰性で、抗生 剤(バン200mg/日と下痢剤)を処方。 2007/3/5 (AM9~10時頃)当院受診。受診時38.3℃で救急にて処方されていた 薬は終了。インフルエンザ確定診断実施したところ、FluB診断、タミフル75mg× 2回/日(5日分)、カロナール200mg(2回分)を処方。 2007/3/6 (AM1~2時頃)寝ていたが突然起きて寝室から飛び出し、廊下を走っ た。裸足で飛び出た。予め今までの副作用を話し一緒に夜間は 過ごし、目を離さないように母親に指示していたため、大車には至らなかった。 マンションの8階で玄関の外に出なくて辛かった。 2007/03/07 (朝)本人は自分の行動を全く憶えていなかった。インフルエンザ軽快。本剤の内 服中止。	*
178	B07013228	12	年	男性	異常行動	2006/2/17 2006/2/18	2006/2/17	-	×	Yes	-	Yes	-	-	-	-	-	-	No	2006/2/17 (夕)前日より発熱(39.1℃)でインフルエンザA+との診断受け、 本剤(75mg)2回/日5日分、奇效薬75mg×3日分の処方される。帰宅後、本剤を服用 し、就寝。(23:30)異常行動が激しいとイレへ行った。トイレから出てきてお茶で 「腹上り、腹上りが…」と云って玄関から出ようとしていたので両親2人がかりで おさえつけた。 2006/02/18 (8:50)患者家族より処方医に連絡。上記の件を伝え、本剤中止と の指示が出た。体温は37.2℃。(8:00)患者家族より薬局にも問い合わせ。経過の情報を 受けた。念のため、本日は患者を見守るよう指導。	
179	B07013229	12	年	男性	異常行動	2007/2/1 2007/2/1	2007/2/2 2:30 5:00	○	-	-	40分	Yes	-	No	No	No	No	No	No	2007/2/1 インフルエンザB型発症。(10:00)本剤75mg内服。(20:45)本剤75mg 内服。鼻症状軽減のため、タベジール1mg×2回/日投与開始(〜2/4)。 2007/2/2 (2:30)異常行動発現(非重篤)。急に起き上がり服を脱ぎ、部屋 の中を歩き、お茶を飲んだ。母と会話したが、母のことを認識していない様子だが、 祖母とは会話できた。ベランダに出て奥り走り出ようとしたのを母と祖母で止めて 室内へ連れ戻した。体温:37.9℃。(3:10)40分くらい再び眠りについた。(5:00) 異常行動発現(非重篤)。寝ている状態でベッドでタバタして話していた。目 はグルグル回って覚めた。40分くらい寝た。(5:40)40分くらい寝た後症状回 復。	
180	B07013305	12	年	男性	異常行動	2007/3/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/16 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。異常行動(走り回る、 頭つきがおかしい等)が発現。 不明 異常行動は回復。	
181	B07013374	12	年	女性	異常行動	2007/2/17	夕方	○	-	-	-	Yes	-	No	-	-	-	-	無	2007/2/17 (夕方)発熱(39.1℃)でインフルエンザ治療のため、本剤75mg×1/日の投与開 始。幻覚、幻聴が出現(重症度不明)、異常行動(非重篤)発現。何も持っていないの に1つ持っていると思う。外に出ようとする。一晩中、父親が朝について 、外に出ようとするのを制止していた。 2007/2/18 (4:00)落ちつく。	
182	B07013360	12	年	男性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	16:00 18:00	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	No	2007/2/27 (5:00)体温:39.2℃。(10:00)インフルエンザA型治療のため、本剤 75mg×1/回内服。内服後、不穏行動発現(非重篤)。突然2F階段をはしりおり る。(19:00)本剤75mg×1/回内服。内服後、やはり不穏状態となり、Familyが 押さえつけてFollowする。 即本剤服用して寝かせるが、3時間半後に起きてきて、親に怒られているという 幻覚のため「ごめんなさい」と何度も繰り返した。夕方にも本剤服用するが、1時 間半後に起きてきて、部屋の中をぐるぐる歩き回ったり、うなったりという異常行 動を起こした。時間は特定できないが、ドライバーを持って家を飛び出そうとし たところを家族がとめている。	*
183	B07013382	12	年	男性	異常行動	2007/3/18 2007/3/18	2007/3/18 23:50	×	Yes	50分	-	Yes	-	-	No	-	-	-	No	2007/3/17 39℃の発熱あり。 2007/3/18 (13:00)本剤75mg内服。(19:00)本剤75mg内服。(23:00)40.2℃の発 熱。脱水に対して、カロナール2錠内服。ポタコールR 500mL点滴静注開始。そ の後嘔吐。(23:50)点滴終了し、抜針した所、走り出した(非重篤)。 2007/3/19 異常行動は回復。	
184	B07013385	12	年	男性	異常行動	2007/2/24	夕	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/23 (夜)38℃ 2007/2/24 (朝)39℃の発熱。(来院時)39.4℃、鼻汁あり。インフルエンザBの判 定のもと、夕方本剤75mg内服。 2007/2/25 (未明)もうろうろ状態発現(非重篤)。急に起きて、ベッドの上で飛びは ねて2階から下に階段を駆け降りて、下で尿、便を失禁した。 不明 症状回復。	
185	B07015893	12	年	男性	異常行動	2008/02/02 2008/02/03 2008/02/03 2008/02/04 2008/02/05 2008/02/05 2008/02/06 2008/02/08	2008/02/02 23:00~ 24:00 5:00~6:00	○	Yes	-	少なくとも1 時間以内	-	-	-	Yes(起ってい て寝ぼけるこ との多い発 現であった)	No	No	No	No	眠っていて寝 ぼけることの 多い発現であ った 2008/02/03(5:00~6:00の間)部屋から一人で出て行くことした。「トイレ？」と尋ねら れ、意味不明の返答。「こちらで寝なさい」と言われ、横になり寝た。体温38.2℃。(午 前)入浴。 2008/02/05 本剤は継続。異常行動の再発はなし。	*

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中○ 就寝中じや ない×)	覚醒直 後に発現 したか	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠異常症 等の既往	睡眠異常症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の動作 履歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例: 幻覚については具体的に何が見えたか? 本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと言っているのか?)	継続投 与例
186	B03001038	13	年	女性	幻覚	2003/1/23 1/24~1/27	2003/1/24	○	No	-	20~30分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	Yes:ボルタ レン	無	2003/1/23 朝発熱あり。(11:00)来院。体温39°C。インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2回/日処方され、夕方から内服開始。 2003/1/24 (昼)熱は39°Cから下降していた。眠っていて急に起き出し、ベランダに向かって走り出し、廊に止められた。その時「死ぬや」と何度も言っていた。(夜)再度眠っていて、急に起き出し、玄関に向かって走り出し母親に止められた。 2003/1/25 前日と同様の状態で発熱を繰り返して。母親は熱にうなされたと理解していた。 2003/1/26 朝より下熱(36°C)となり前日の様子はなかった。 2003/1/27 来院時問題なし。朝の服用にて本剤服用中止。 2003/2/25 他の疾患にて再来院。この時もまったく問題なし。	※
187	B0300982	13	年	男性	①異常行動 ②幻視 ③幻覚	2003/1/21~ 1/22	2003/1/22	-	-	-	18:00 20:00~ 21:00	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	インフルエンザ治療後数ヶ月たち、発熱のため、ボルタレン坐剤12.5mg使用。本剤内服後感じた「死にたい」という感情がわずかに出現した(坐剤使用6-7時間後)。 2003/1/20 夜、体温37.4°C、関節痛、頭痛、咽頭痛、咳あり。 2003/1/21 朝、前日の症状が悪化。当院受診。インフルエンザB型の診断。同日朝タミフル服用。 2003/1/22 朝、38.8°C。本剤服用。二次感染による咳(+++)療のためクラリス、ムコダイン、リン酸コデイン、酸化マグネシウム処方。昼、服薬し休んだ。(16:00)突然バタバタと2階から降りてきて、持っていた洋服を「これおかし いよ」と言い、自分の太腿をたたき、ウサギ跳びをした。家族がなだめ再び就 寝。(20:00~21:00)ベッド内で「死んじやうよ」と叫び、ベッドから飛び降 り、「逆立ちしようやる」とか「高伏安寝しようする」等の言動あり(覚醒ではな い)。 2003/1/23 朝、すべての薬剤を中止。体温37.8~38.1°C 2003/1/24 体温36.6~37.3°C。市販の咳止めのロキソニド使用。 2003/1/27 母親が来院。咳(+++)あり。クラリスのみ継続するよう指示。	※
188	B03009902	13	年	男性	譫妄	2004/1/21 2004/1/22 2004/1/23 2004/1/24 2004/1/25 2004/1/26	2004/1/21	-	-	-	30分	Yes	解熱過程	No	-	-	-	No	無	2004/1/21 (18:00)受診。BT39.1°C。咽頭痛、咳あり。血圧104/88。インフルエ ンザと診断。(19:00)帰宅後、本剤服用。発熱続いていた。(21:30)異常行動出 現。家の中を走り回る。階段を駆け上ったり、かけ下りたり。意味不明の奇声。ト イレの中でクルクルこまのように回る。かみつく。救急車要請。救急病院へ。こ の頃30~40分ほどか。(22:10ごろ)救急車で救急病院へ。発熱時には安静にも とどいて。体温も平熱にもどっていたとのこと。意識は正常。せん妄状態時の 言動については記憶なし。様子観察のため点滴(内容不明)。1時間ほど在院し て帰宅。 2004/1/22 (朝)平熱。咽頭痛、咳少々。本剤そのまま続行。その他の薬もその まま続行。 2004/1/24 (11:00)診察。36.4°C。咽頭痛(-)、咳(-)。異常所見なし。診察時、上 記エピソード聴取。熱性せん妄と判断。タミフル中止の指示はせず。追加投薬も (2:30)自宅の2階から飛び降りた。外に雲が積もっており、雨下がりが理まった。 自分で出てきて自宅のチャイムを押して中に入った。母に「おぼけてないよ、お ぼけてないよ」とくり返し、自分の部屋に戻り入居した。本人は飛び降りたのは 覚えていないが、その理由はわからないとのこと。	※
189	B05001832	13	年	男性	精神障害	2005/3/18	2005/3/17	-	No	-	Yes	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	無	2007/1/21 (8:00頃)発熱、頭痛、咽頭痛、腰痛を訴え、在宅受診。インフルエ ンザB型と診断。(10:00)38.6°C 当日午前中帰宅後夕方食後に、タミフル75mg内服。 2007/1/22 (2:00頃)幻覚、異常行動発現。夜間睡眠中に、自分の鼻に家人より 危害を加えられると思い込み、家を飛び出し知事。夜間睡眠中に、自分の鼻に かかった人に絡んで車で警署署に連れて行ってもらった。(3:00)約1時間回復。 署で事情を聞かれている間に正常に回復した。幻覚、異常行動回復。 (10:00)36.9°C 2007/1/26 8型インフルエンザ軽快。	無
190	B06022963	13	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2007/1/21	2007/1/22	○	Yes	-	19時間	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	無	2007/1/21 (8:00頃)発熱、頭痛、咽頭痛、腰痛を訴え、在宅受診。インフルエ ンザB型と診断。(10:00)38.6°C 当日午前中帰宅後夕方食後に、タミフル75mg内服。 2007/1/22 (2:00頃)幻覚、異常行動発現。夜間睡眠中に、自分の鼻に家人より 危害を加えられると思い込み、家を飛び出し知事。夜間睡眠中に、自分の鼻に かかった人に絡んで車で警署署に連れて行ってもらった。(3:00)約1時間回復。 署で事情を聞かれている間に正常に回復した。幻覚、異常行動回復。 (10:00)36.9°C 2007/1/26 8型インフルエンザ軽快。	無
191	B08025315	13	年	男性	異常行動	2007/2/28	2007/2/28	○	Yes	5時間	5分位	Yes	発熱持続	No	-	-	No	No	無	2007/2/28 発熱を伴う風邪症状で当院受診。インフルエンザBと診断され、タミ フル、カロナール細粒を処方される。(18:30)帰宅後、タミフル1cap(75mg)服用。 就寝(時間不明)。起床(時間不明)。(23:05)異常行動発現(非重篤)。覚醒し、トイ レへ行こうとする。しかし、意味不明な発音をし、叫びながらベランダに向かっ て歩き出した家族がとどおさえ、すぐに意識清明となる。(23:20)再度当院受 診。体温:38.3°C。念のため採血するも異常なし。診断にてもらかな異常なし。 異常行動軽快。48時間は目を離さないよう伝え帰宅する。 2007/3/1 (0:00)帰宅する。朝には熱さが下がっている。 2007/3/2 その後本剤服用せず。異常行動はなし。 2007/3/3 体温:36.0°C。インフルエンザの軽快。軽快・回復。	無
192	B08028420	13	年	男性	異常行動	2007/3/12	2007/3/12	1回目×、2回 目○	Yes	-	-	Yes	-	No	No	-	-	No	不明	1回目:大きい石がのついていると責う。2回目:親のわがらにものを責う。起きて (線路)と数回叫び、後退りし。手を取るがテーブルの上に乗り、その後、走り回 り。母親が、押さえ込む。体温を測ろうとするが、体が硬直し、筋が占められない 状態であった。また室内犬を蹴つた為、犬をゲージに入れるが、朝起きてなぜ犬 が、ゲージの中に居るのか判らない状態であった。	不明
193	B07000983	13	年	男性	異常行動	2005/12	追加なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	不明 ワクチン接種。 2005/12 他院にてインフルエンザ治療のため本剤75mg×2/日投与開始。 2005/12/9 2階の窓から飛び降りようとしたが、家族が止めたため、事故にはな らなかった。異常行動があったため、当院にて診察。 不明 治療後も目が覚めると歩きまわる様になった。 2006/1/4 胸打撲傷の経歴あり。	無
194	B07000086	13	年	男性	精神症状	2007/2/23	2007/2/23	○	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	-	-	-	No	No	譫妄	自宅で寝ていたところ、急に起き上がり意味不明な発語。 窓から外へようとした。発熱で重症状態になったことは以前にあり。	無

72